平成２０年７月４日
南海電気鉄道株式会社

高野山（こうやさん）駅に「作務衣（さむえ）」を着た駅係員が今年も登場！

南海電鉄（社長　亘　信二）では、“霊場・高野山”の風情をお楽しみいただくため、昨年に引き続き高野山駅の駅長をはじめ同駅係員全員が、山内の僧侶などが労働（作務）をするときに着る「作務衣」を着用してお迎えし、お客さまをご案内します。
詳細は以下のとおりです。

１．「作務衣」の着用期間
（１）平成２０年７月５日（土）から同年９月２８日（日）までの土・休日
（２）お盆期間・・・同年８月１３日（水）、１４日（木）、１５日（金）
２．「作務衣」を着用する従業員
（１）高野山駅長・・・・・・ズボン・ぞうり着用
（２）その他の係員全員・・・上着のみ着用
３．高野山駅の概要
（１）開　業　　昭和５年（１９３０）6月２９日
（２）所在地　　和歌山県伊都郡高野町大字高野山国有林第９林班ノは
（３）１日平均乗降人員　　１,６１１人（平成１９年度）

作務衣を着用した西川信夫高野山駅長